

九州大学ソーシャルアートラボ ソーシャルアートカフェ vol. 3 アートプロジェクトを“作曲”する

ゲスト：樫山智子（作曲家）

鼎談参加者：大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員・文化生態観察）

中村美亜（九州大学大学院芸術工学研究院准教授・芸術社会学）

ユニークなゲストを迎え、アートと社会の未来について語りあうソーシャルアートカフェ。今回は、国の内外で分野横断的な活動続ける作曲家の樫山智子さんをお招きし、「アートプロジェクトを“作曲”する」というテーマでお送りします。

農村全体が舞台となる福井での散歩コンサート、東京のマイノリティとマジョリティの間を行き来する参加型演劇ツアー、ヒマラヤのやまびこと対話する遊牧民の子どもたちとのパフォーマンス、考古学者や反鉱山開発アクティビストと共創する南アフリカでのマルチメディア作品、インドネシアのスラム街から立ち上げる洪水被災者のバンド音楽、フィリピンの死にゆく珊瑚礁にむかって捧げる儀式。樫山さんは、色々な人たちの中に身を置き、その人たちと彼らをとりまく環境との関係性に入っていくことで作曲を続けています。

何故、音楽でアートプロジェクトなのか？音楽という視点からアートプロジェクトを眺めることで見えてくるものとは？集まったみなさんと一緒に探っていきたいと思います。前半は樫山さんのアーティストトーク、後半は大澤寅雄（文化生態観察）、中村美亜（芸術社会学）を交えた鼎談でおこないます。



2016.12.17(SAT) 14:45 OPEN / 15:00 START

会場：九州大学大橋サテライト「ルネット」（西鉄大橋駅前）

参加無料（要事前申込み） 申込み締め切り 12月16日（金）



◎プロフィール

樫山智子 MOMIYAMA Tomoko

福岡県生まれ、ニューヨーク/カリフォルニア育ち、東京在住の作曲家。スタンフォード大学にて作曲と文化心理学を二重専攻し卒業。文化庁新進芸術家派遣制度によりオランダ王立ハーグ音楽院作曲科留学。世界各地の文化機関や芸術祭から招聘委嘱を受け、サイト・スペシフィックなプロジェクトを展開。背景の異なる人々を巻き込んだ旅をデザインし、人と環境との対話を媒介することで、新たな共同体に属する音楽を紡ぎ出す。様々な社会的マイノリティのコミュニティや異分野の専門家等との協働を通して、同時代的かつ民俗的であるからこそ現代社会に対するコメンタリーとなりうる音楽を探求し、アイデンティティの問題を掘り下げている。マイノリマジョリテ・トラベル主宰、日本相撲間芸術作曲家協議会理事。

《申込み・問い合わせ先》

九州大学ソーシャルアートラボ TEL/FAX：092-553-4552 E-mail：sal@design.kyushu-u.ac.jp

下記の項目を記載のうえ、メール・FAXのいずれかよりお申し込みください。

《記載事項》①氏名（フリガナ） ②電話番号 ③メールアドレス ④ご所属

【主催】九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ 【共催】公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

【後援】日本アートマネジメント学会九州部会 【助成】平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業